

1 都心の空間の持続的成長・強化のための取組

都心まちづくりを具体的に推進する上では、取組の力点となる、まちづくりの戦略とその展開プログラムを定めるとともに、長期的な視点に立ち、都心に起こる様々なまちづくりの機運が都心の構造の具現化に資する取組になるよう適切に誘導することが重要です。

そこで、都心の構造となる「骨格軸」「展開軸」「交流拠点」及び「ターゲット・エリア」といった主要な要素について、あるべき姿を展開指針として定めるとともに、その具現化に必要とされる取組の方向性を骨子として定めます。

これらの骨格構造及びターゲット・エリアにおける取組を相互に連携して進めることで、都心全体としての回遊性の向上や、にぎわい・活力を象徴する機能・空間の誘導等を図り、都心空間の持続的成長・強化につなげていくことが重要です。

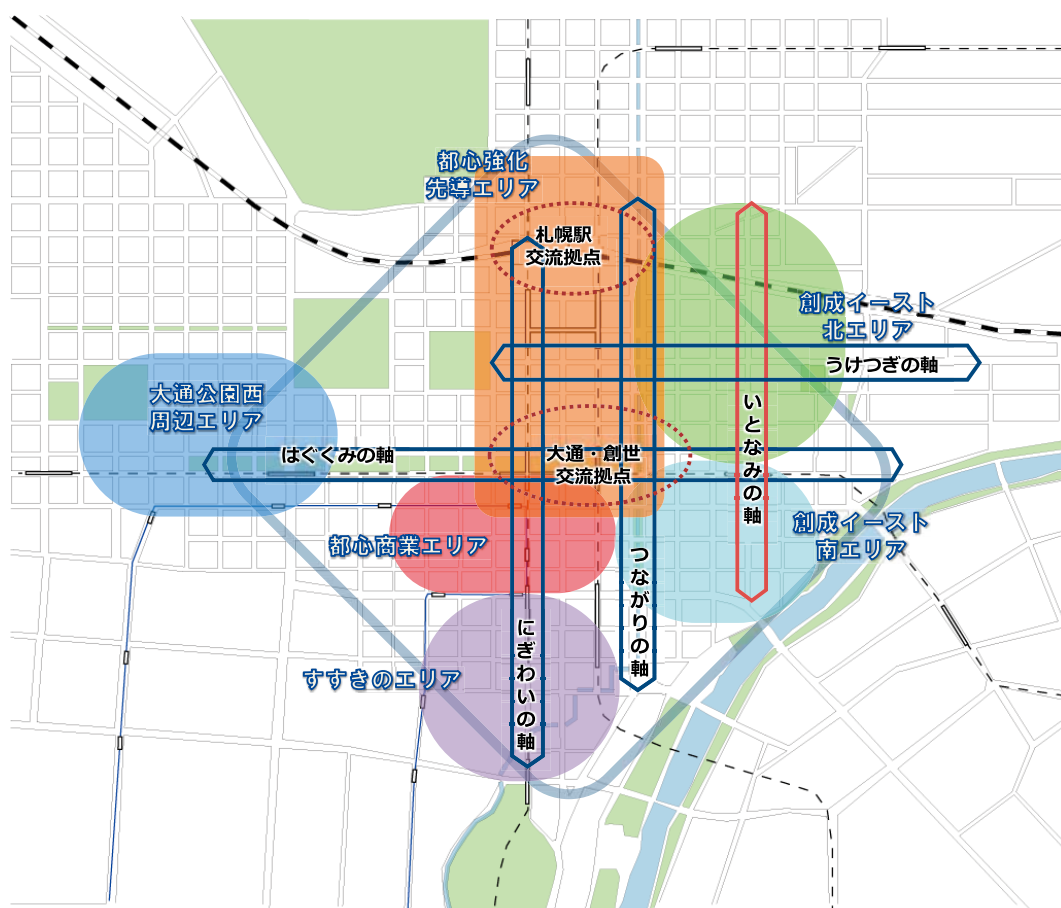


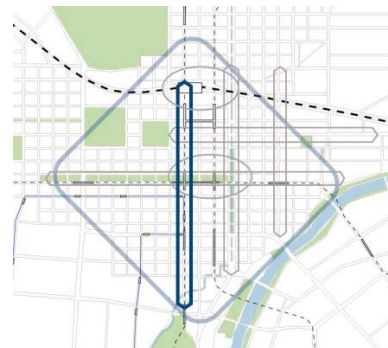
図 都心の骨格構造とターゲット・エリア

2 骨格軸形成・強化の指針

2.1 駅前通 ～にぎわいの軸～

現状と課題

- ・札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）の整備と、地上部の歩行空間の拡充による歩行者の増加
- ・都市再生特別地区（北3西4、北2西4、南2西3南西地区）における開発を通じた、官民連携による空間創造の展開
- ・「すすきの～大通」間の開通による路面電車ループ化
- ・沿道建物の老朽化に伴う建替え動向の顕在化
- ・空間形成の連鎖を支える地区特性に応じたビジョンづくりの必要性



展開指針

都心のにぎわい・活力を象徴する沿道の機能・空間の再編と、都心強化と連動する軸双方向の起点からの高質化

- ◎周辺のエリア特性を活かし、都心のにぎわいと活力を象徴する機能・空間を誘導
- ◎歩行者・公共交通を基軸とした回遊の中心軸にふさわしい機能の強化
- ◎札幌駅から中島公園まで、都心南北を貫く軸を活かすため、軸双方向からの既存資源・都市的資産の機能・空間の高質化

取組の骨子

象徴的な軸空間の形成

- 札幌の玄関口からつながる目抜き通りとして、北海道・札幌らしいみどりの景観と活力・にぎわいを感じることができる沿道の街並みを備えた軸空間の形成
- エリアマネジメント等と連携し、エリア特性に応じた低層部への機能誘導を促進し、地区個性を強化

多様なネットワークの形成

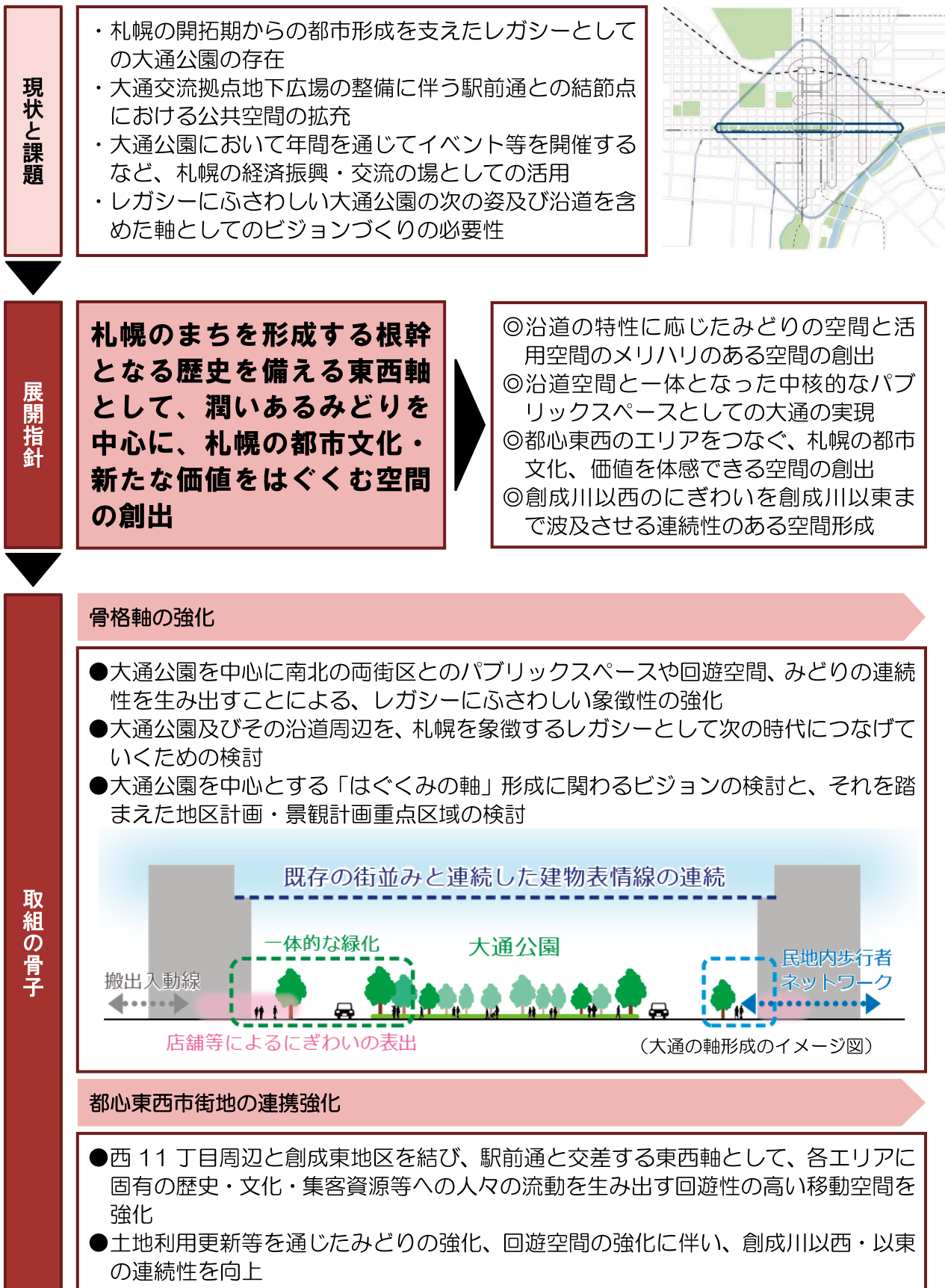
- 札幌駅からつながる地上地下の歩行者空間を中心に沿道ビルとの接続を促進し、四季を通じて快適に移動できる重層的な回遊ネットワークを強化
- 既存インフラを活用し、沿道ビルの開発・更新にあわせ、札幌の低炭素型市街地の具現化に資する都心エネルギーネットワークを展開

軸双方向からの資源・資産の高質化による、にぎわいの軸の強化

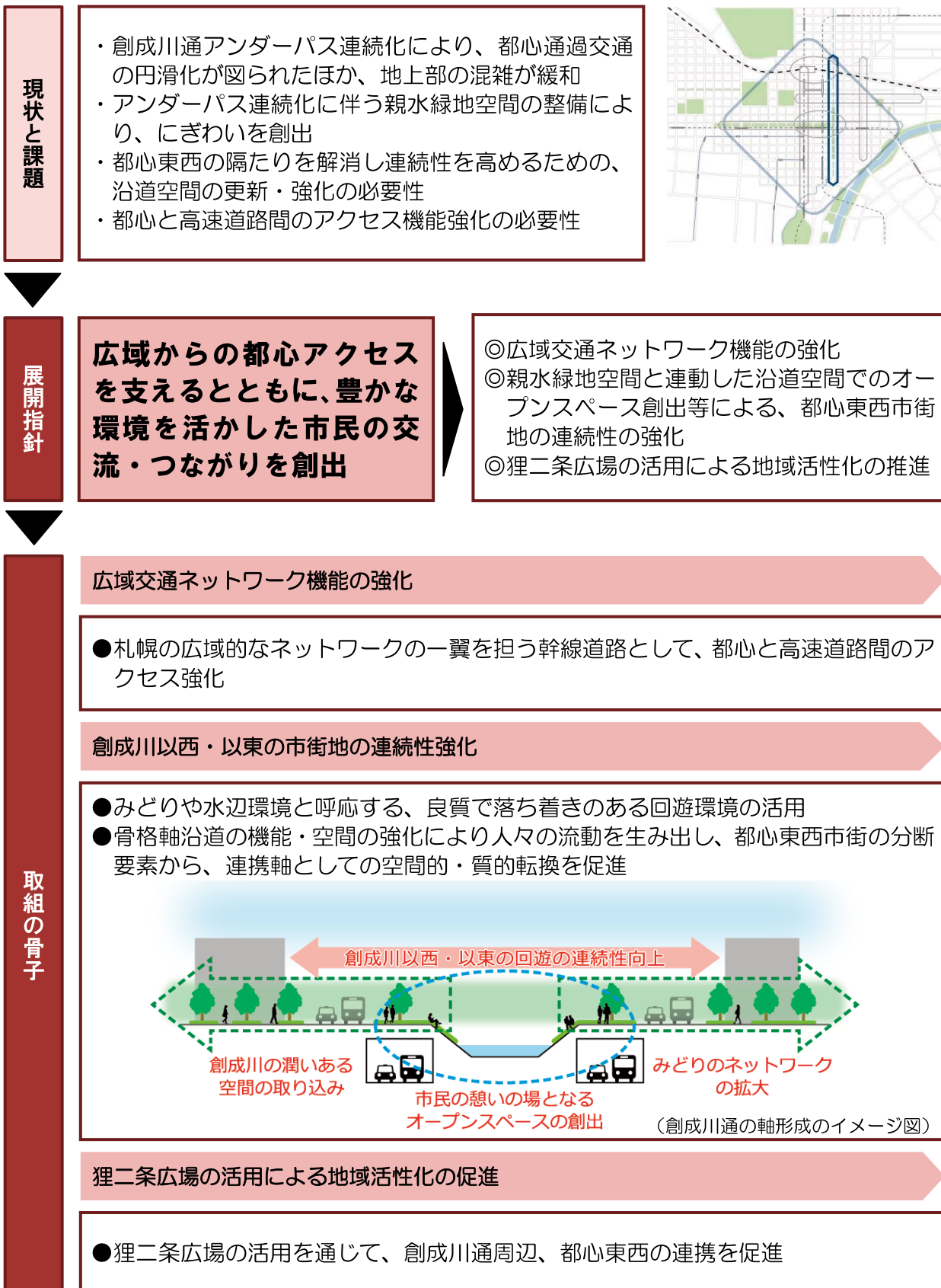
- 札幌の玄関口となる札幌駅交流拠点の広域交流拠点としての高質化
- 札幌開拓のレガシー^{※26}であり、都心南のゲートとなる中島公園北部の既存資源を活かした札幌都心らしいにぎわいと豊かな環境を体感できる都市観光・交流の場の強化

※26 レガシー：過去の遺産。

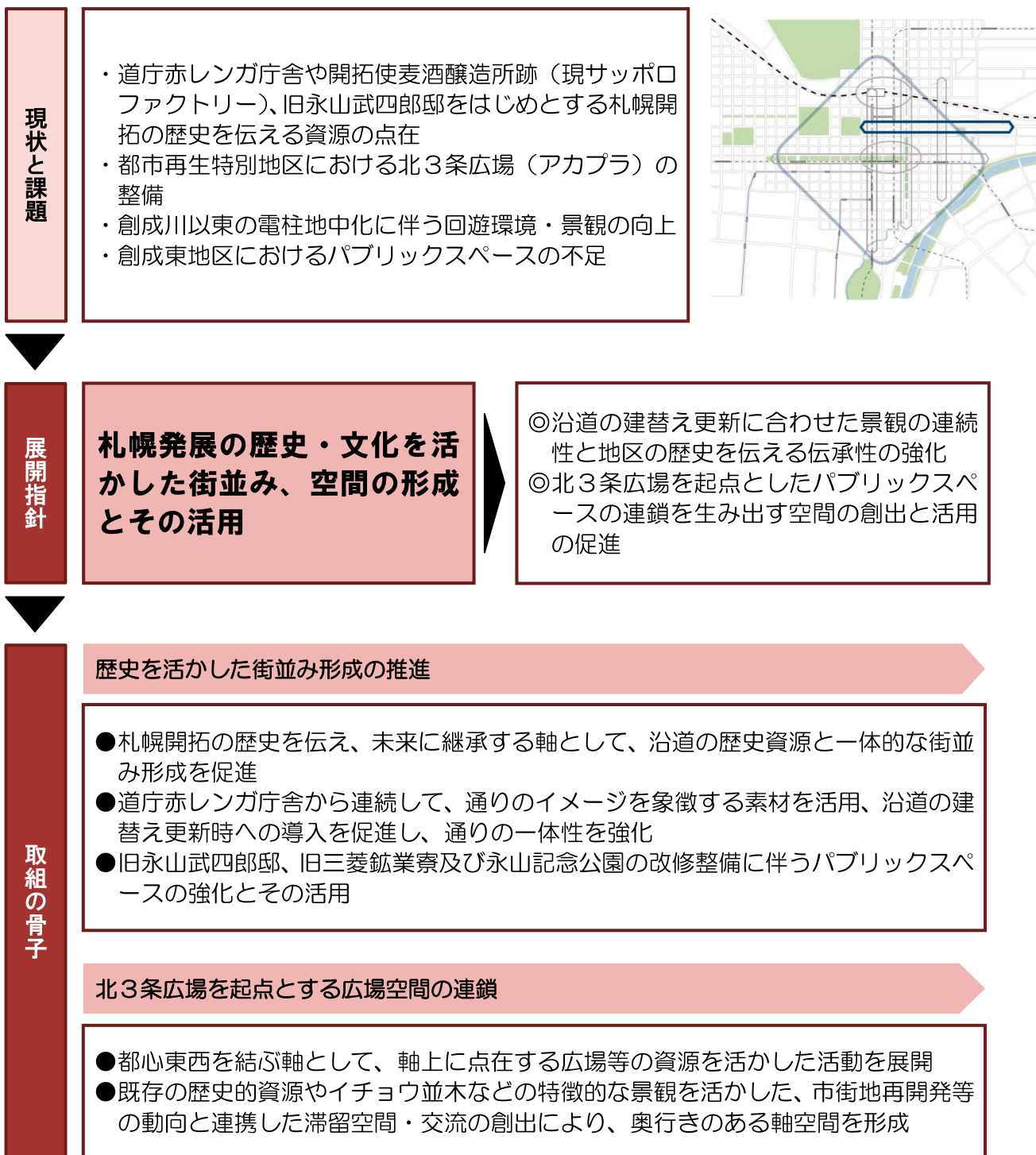
2.2 大通 ～はぐくみの軸～



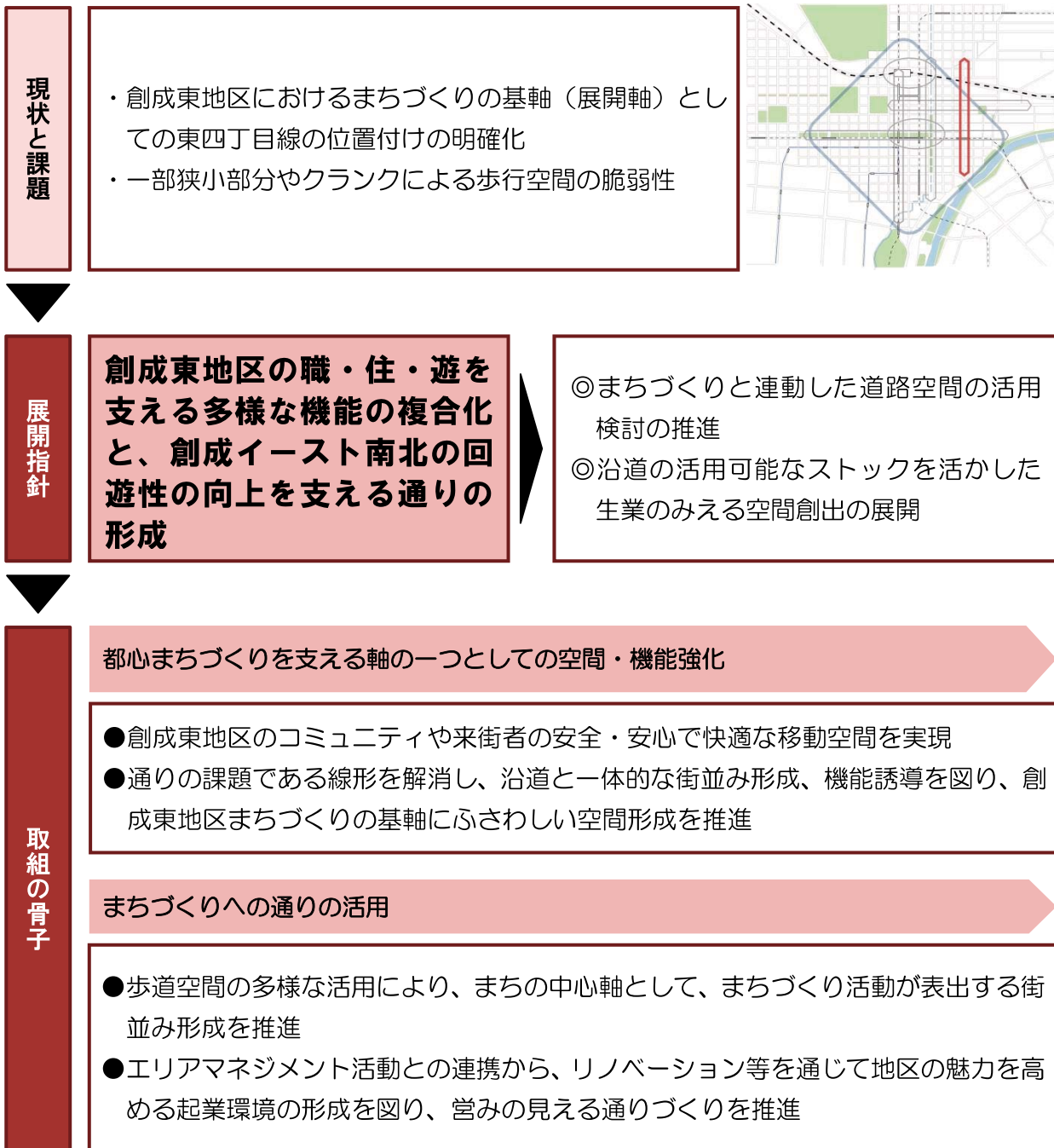
2.3 創成川通 ～つながりの軸～



2.4 北三条通 ～うけつぎの軸～

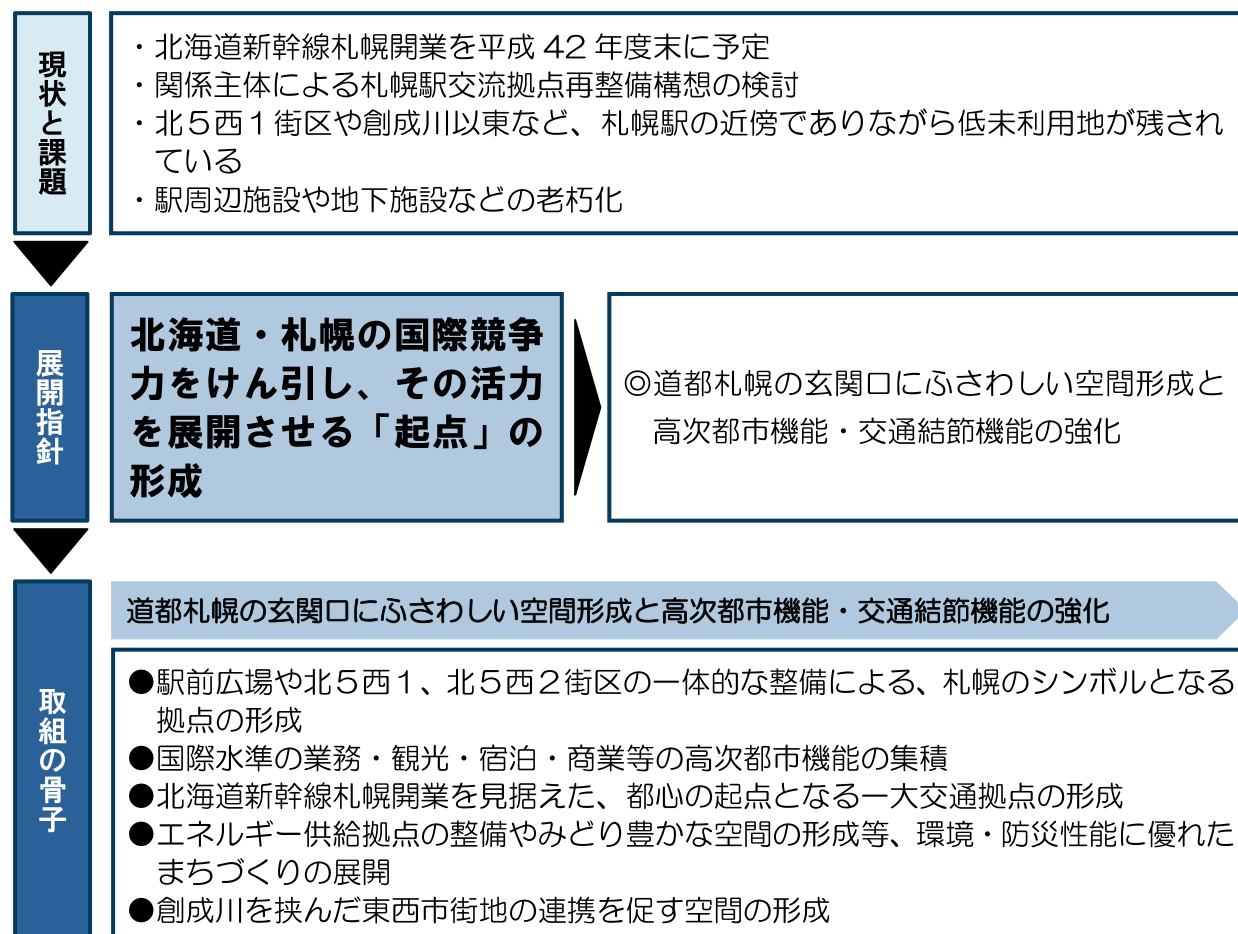


2.5 東四丁目線 ～いとなみの軸～

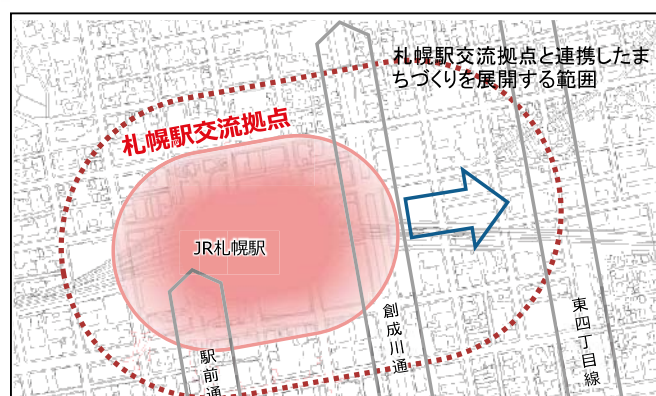
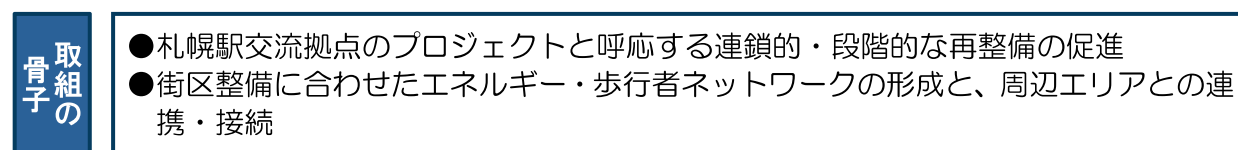


3 交流拠点形成・強化の指針

3.1 札幌駅交流拠点



3.1.1 札幌駅交流拠点と連携したまちづくりを展開する範囲 ～札幌駅周辺の活力を都心東部へ波及させる、まちづくりの連鎖的展開～



3.2 大通・創世交流拠点

